

P.83 印をつくる

つながる模様を楽しむ - 消しゴムはんこでスタンピング -

概要 (めあて、学び の目標を含む)	○身の回りの連続模様に関心をもつとともに、消しゴムはんこで連続模様を制作する。 ・ P.150・151 伝統の文様などを参考に、身の回りの「連続模様」に関心をもつとともに、イメージを膨らませる。 ・ 連続模様の原理やつくり方を理解し、下絵を描く。 ・ 版画用消しゴムに下絵の模様を写し、彫刻刀やカッターナイフで版を彫る。 ・ 版にインクや絵の具をつけ、連続して押し、できあがった連続模様を鑑賞し、よさや工夫している点について意見交換する。
評価規準	知 連続模様や色彩が感情にもたらす効果や造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 技 消しゴムはんこの特性を生かすとともに、意図に応じて表現方法を追求して、創造的に表している。 発 模様がつながることを条件に主題を生成し、表現の構想を練っている。 鑑 連続模様のよさや美しさを感じ取り、表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 感 消しゴムはんこに興味をもち、鑑賞や表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。

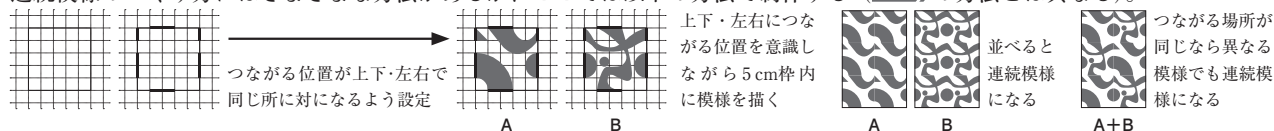
■主な準備物

【生徒】・筆記用具(特に鉛筆) ・コンパス ・定規 ・彫刻刀(カッターナイフ) ・軍手 ・タブレット端末

【教師】・版画用消しゴム(5×5cm) ・カラースタンプ台(版画用絵の具)

・作品用紙(画用紙など、5×5cmのマスを6つほど並べた用紙があると押しやすい。作品用紙のテンプレートあり)

■連続模様のつくり方

連続模様のつくり方にはさまざまな方法があるが、ここでは以下の方法で制作する(**P.83**の方法とは異なる)。

■学習の流れ

※ここでは2種類の版の制作を例にしています。

段階	活動内容	指導者の働きかけ	評価	留意点及び評価方法など
導入 10分	○身の回りの連続模様には、どのようなものがあるか考える。 ○連続模様を鑑賞し、よさやおもしろさを知る。 ○連続模様の制作方法を知る。	○お菓子やデパートの包装紙、プリント生地など多くのものが連続模様になっていることに気付かせる。	態	【発言・活動の様子】
展開1 50分	①ワークシートの5cmの枠の上下・左右が対になるよう「つながる位置」を設定する。 ②「つながる位置」を意識し模様を描く。 ※模様を描く際に、コンパスや定規を使って制作してもよい。 ※枠内につながらない模様が含まれていても可。 ③下描きをタブレット端末のカメラで撮影し、つながりを確認する。 ④③の結果から下描きを修正する。	○ワークシートのマス目(1cm)を基準にして「つながる位置」を設定させる。 ○下描きをタブレット端末のカメラで真上から撮影し、枠の大きさにトリミングし、描画アプリケーションなどに複数並べ確認させる(スムーズにつながるように、手直しさせる)。	態 表 知	【活動の様子】 【ワークシート】 【ワークシート】
展開2 80分	⑤下描きを版画用消しゴムに写す。 ⑥版を彫る。最初に三角刀などでおおまかに周りを彫ってから仕上げる。 ⑦作品用紙にスタンピングする。	○鉛筆で描いた下描きは裏返して版にのせ、擦ると版に写ることを伝える。 ※彫刻刀を用いる際、版を持つ手には安全のため軍手をはめるように指導する。	技 表 知	【活動の様子】 【制作中の作品】 【制作中の作品】
まとめ 10分	○制作した作品を並べ相互鑑賞する。 ○感じ取ったことについて意見交換する。	○作品の制作意図や表現のおもしろさ、工夫について意見交換させる。	態 鑑	【活動の様子】 【発言・意見交換の内容】及び 【ワークシート】

◆指導のヒント

本題材は紙にスタンピングしたが、布用スタンプ台も市販されているので、ハンカチやトートバッグなどを装飾する題材にも展開できる。また、スタンピングも市松模様になるように色を変えたり、版材の上下両面に異なる版を彫ったりすることなども可能である。

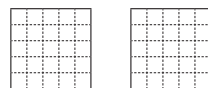
なお、本題材では模様のつながりの確認だけにタブレット端末を使用した。生徒が描画アプリケーションの活用慣れている場合は、下描きの段階(模様ユニット作成)から、連続模様の作成まで一連の制作活動をタブレット端末上で完結することも可能である。

◆指導のポイント

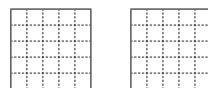
消しゴムはんこは、彫りやすく短時間で制作が可能であるので、発想・構想での下絵作成の指導を充実させたい。特に模様のつながりを確認した後、そのつながりから「見立て」(上記A案では「少し変えればイルカの形になりそう」)や、つながる部分をどのように手直しすればスムーズにつながるかなど考え、修正をさせたい。

〔ワークシートの例〕

「つながる位置」を決めて模様をイメージ



原寸大の下描き



工夫したところや制作して感じたこと

うまくいかなかったことや改善点

「友達の作品①」「名前」
よさや工夫:「友達の作品②」「名前」
よさや工夫:

組 名前